



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

根室市寿大学にて マリンビジョンの取組紹介

● 歯舞漁協の伊藤専務理事が8月27日、根室市総合文化会館で開催された「根室市寿大学 8月学習」にて、「水産業を通じた地域振興 マリンビジョン」と題し、歯舞地域のマリンビジョンの取組を紹介しました。

● 伊藤専務理事は講演の中で、地域マリンビジョンの概要を説明した上で、歯舞地域マリンビジョン協議会は地域マリンビジョンの実現に向け、地域を挙げて色々な取組みをしており、歯舞水産物ブランド化推進協議会が推進する「一部会一品運動」により、「一本立ち歯舞さんま」や歯舞北海しまえびの「舞撰(まいせん)」、昨年より取り組んだ活かこの「金だこ」など、現在の商標登録は22品目に及ぶことを説明しました。また地元小学校を対象とした漁業体験学習、歯舞おさかな祭り・こんぶ祭りなどの催事、クルージング、女性部との植樹活動についても紹介しました。

● さらに地域活性化について、「地域にないものを無理につくるより、地域にあるものを掘り起こしながら、その特性を活かそう」と歯舞地区マリンビジョン基本理念を説明しました。

● 同学習には、根室市寿大学約50名が出席され、「身近な歯舞地域において、このように地域を挙げて素晴らしい取組みをしている事に対し、根室市民として今後も応援していきたい」と応援の声を頂きました。



歯舞マリンビジョンの取組を紹介する伊藤専務理事

豪雨と地震災害に義援金を寄付

● 歯舞漁協は10月17日、根室市役所にて「平成30年7月豪雨災害」及び「平成30年北海道胆振東部地震」に義援金10万円(各5万円)を寄付しました。

● 寄付金は、歯舞地区マリンビジョン協議会が主催した「第6回歯舞おさかな祭り」と「第12回歯舞こんぶ祭り」で行った、チャリティー抽選会で募ったもので、小倉組合長から石垣根室市長へ贈呈されました。

● 皆様の温かいご支援に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



中央大学生が歯舞視察・民泊体験

根室管内一市四町が大学などのゼミの誘致を行うインカレ根室事業の一環で、9月17日～18日にかけて根室市を訪れた中央大学生8名に対し、漁家での民泊受け入れを実施しました。

学生らは17日、漁業者宅に民泊。夕食では刺身、結び昆布、サンマ塩焼き、メンメの吸い物、イクラの醤油漬け等、歯舞自慢の海の幸をふんだんに使用した食事が振る舞われ、学生らはその美味しさにご飯を2杯3杯とおかわりするなど食欲が止まらない様子でした。

翌18日には、歯舞組合食堂で朝食を食べた後、市場のセリ見学や直販所で昆布についての説明を受け、最後に歯舞地区マリンビジョン協議会の取組についての説明及び質疑応答を行いました。



市場見学の様子



講義の様子

東京都代々木公園で焼きサンマをPR

北海道ならではの料理店や各自治体の観光・PRなど、合計約100店舗のブースが出展する「第30回北海道フェア in 代々木～ザ・北海食道～」が10月5日～8日、東京都代々木公園で開催されました。4日間で約40万人が来場する日本最大級の食の祭典で、歯舞漁協は根室四単協として初出店しました。主な販売品目は、焼きサンマや焼きイワシ、ポタンエビ、花咲ガ二甲羅詰め、焼きホタテのほか、缶詰等の加工品です。焼きサンマがやはり人気でしたが、花咲ガニやホタテは、客前で醤油と酒を霧吹きにかけてバーナーで焼き目をつけるパフォーマンスがお客様に受け、3日目・4日目は一度も客足が途切れることなく盛況のまま終わることができました。

人気商品の見極め、客足の動線を考慮した出店位置など、多くの課題も生まれた今回の試みですが、今後も広く歯舞をPRする活動は続けて参ります！



賑わう会場の様子



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

